

PHOENIX NEWS



KOGA
COMMUNITY
HOSPITAL
NEWS



INDEX

vol.23

- Front Line 外国人技能実習生の受入れ
- Special Issue 院内情報
- Information 市民公開講座・健康講座の開催
VRリハビリテーション機器mediVR神楽を導入
脳ドック
- Community Lounge 理事長の作品が入選
- 温故地新 静岡空襲を伝える



社会医療法人 駿甲会
Community Hospital

甲賀病院



外国人技能実習生の受入れ

令和4年5月20日にタイから介護技能実習生9名が来日、1ヶ月間千葉県での法定研修を経て、6月22日当法人に入職致しました。

当法人が実習生たちと初めて面接を行ったのが令和2年4月と6月でした。その後の約半年間、来日の要件となる日本語検定（N4）取得に向けて勉強し、無事全員が合格しました。本来は令和3年度内の来日予定でしたが、コロナウイルスの影響により入国ビザの発行が停止、約1年6ヶ月間もの間待ち続ける日々となりました。他法人では上記理由により来日を断念したという話を多く聞きましたが、当法人では実習生とSNSを用いて密に連絡をとりながら信頼関係を築き、無事に9名全員が来日を実現できました。

今後3年間は、当法人の施設、ケア高草・ケア吉田・ケア大井川に各3名ずつ配属され、介護職としてのスキル習得と日本語のさらなる向上を目指していきます。

実習生達からは、「日本語を使っのの仕事は難しいけれど介護の仕事はとても楽しい。とくに利用者さんが笑顔で優しく話してくれるのがほんとに嬉しい。負けないような笑顔で接するようにしています。」と言う声があり、日本の介護スタッフからも、「彼女たちが頑張っている姿、一生懸命日本語を話している姿や懸命に介護の方法を覚えようとしている姿を見るとこちらも身が引き締まる。また、彼女たちが見ているので、より一層丁寧なケアを提供しなければと自分自身の仕事に向かう姿勢を見つめ直す良い機会となっている」とお互いに良い影響を与えています。

今後は、甲賀病院でも技能実習生の受け入れを予定しています。当法人と技能実習生がお互いを高め合い成長できる関係を構築すること、また技能実習生制度を通じて、タイと日本の懸け橋となれるよう邁進して参ります。



6月24日 レセプションパーティーにて





Special Issue

院内情報

1/ 甲賀院長が「焼津市医師会」の理事に就任



令和4年6月29日に開催された、第116回一般社団法人焼津市医師会定時総会において、当院甲賀啓介院長が『一般社団法人焼津市医師会』の理事に就任致しました。任期は2年間となります。

焼津市医師会は、焼津市内の病院・クリニックにより昭和33年に設立され、「医療職としての倫理観を高め、医師自らの医学の研鑽を通じて医療の普及、および公衆衛生の向上を図り、社会福祉の増進に寄与する」事を目的としています。日常の診療活動に加え、産業医として保健活動、夜間診療を行う志太榛原地域救急医療センターへの医師派遣、そして志太榛原圏域の救急医療活動を担うなどの多岐に渡る医療活動を行っています。院長は焼津市医師会理事として、焼津市民および志太榛原地域の為に医療の質向上に向けて尽力してまいります。

2/ 腫瘍内科の診療が始まりました

河合貞幸 医師による腫瘍内科の診療が始まりました。

【取り扱う主な疾患】

血液がん以外の固形がん全て（肺がん・消化器がん・乳がん・頭頸部がん・泌尿器がん・原発不明がん・肉腫など）を対象疾患としています。

診療日時は以下の通りです。予約制となっております。

月曜日 9:00～11:30（初診）
火曜日 9:00～11:30（再診）／13:30～16:30（初診）
金曜日 13:30～14:30（初診）

※緊急の場合は原則対応いたします。



3/ 北村医師が連携医療登録医に認定

脳神経内科 北村 純一医師が、“国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター”の連携医療登録医に認定されました。

連携医療登録医とは、患者さんに「ふたり主治医」を持ってもらい、それぞれの診療分担を明確にし、協力体制のもと患者さんの健康管理を行います。一貫した医療を提供するため、医療機関が連携を密にすることで、患者さんやご家族が安心して医療を受けることができます。

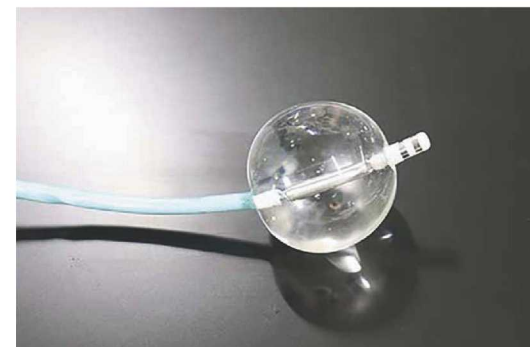
最新の医療情報や専門的知見を提供することで地域医療をバックアップすると共に、医療機関と地域住民との信頼関係の向上をサポートします。

北村医師には、今後も地域住民の皆さんの健康を守るために、より一層の活躍が期待されます。



4/ 高周波ホットバルーン(SATAKE・HotBallon)認定施設になりました

当院循環器内科が高周波ホットバルーン（SATAKE・HotBallon）の認定施設になりました。高周波ホットバルーンは、心房細動の治療に用います。バルーンで肺静脈入口部周囲を広く焼く治療法です。バルーンはサイズ調整が可能のため、さまざまな形態の肺静脈に対して効率よく治療ができます。



5/ 当院が「一次脳卒中センター」に認定されました！

2022年8月より、当院が一般社団法人日本脳卒中学会の一次脳卒中センターに認定されました。

一次脳卒中センターとは、地域の医療機関や救急隊からの要請に対し、24時間365日、脳卒中患者さんを受け入れ、急性期脳卒中診療担当医が、患者さんの搬入後速やかに診療（rt-PA静注療法を含む）を開始できる施設のことです。



脳卒中は時間との闘いとも言われており、治療開始までの時間が重要です。

当院には血管内治療専門医の資格を持つ4名の常勤医が在籍しており、1分でも早く治療できるように24時間体制で備えています。

万が一体調に異常を感じた場合には、病院救急車直通ダイヤルにお問い合わせ下さい。

当院では、地域の皆さんの健康・命を守る為に、引き続き安心・安全の医療サービスを提供していきます。

病院救急車直通ダイヤル：090-2135-9990

6/ 第8回 救急症例検討会が開催されました

令和4年6月29日（水）、当院で「第8回救急症例検討会」が開催され、焼津市消防などを含め、当院内外の医療関係者40名が出席しました。

救急症例検討会は“過去の症例を検討し、改善点など意見交換を行うこと”、“病院と消防署との連携を強化し、より円滑な救急業務の遂行を図ること”を主な目的としています。

今回の症例は、脳神経外科を中心とした内容で、同部長 山内滋医師による「破裂前交通動脈瘤の一例」、同 渡邊正英医師による「路上で倒れていた身元不明の意識障害患者に対して緊急開頭血腫除去術を行った一例」、同 根元琢磨医師による「甲状腺クリーゼに伴う脳梗塞を発症した一例」「脳梗塞に関する勉強会」について現場活動を振り返りながら検討がなされました。

当院では、引き続き二次救急医療機関として地元消防署との連携を深めると共に、1秒でも早く適切な治療を行うため、今後も定期的な開催を予定しています。



開会の挨拶をする
■ 甲賀 美智子 理事長

7/ 実習生の受入れをしています

当院では、未来の医療従事者の臨床実習生を受入れています。看護部、リハビリテーション科、薬剤科、栄養科へ県内の大学生や専門学校生が資格の取得のため、当院で研鑽に励んでいます。現場の医師や患者さんと接するため、始めは皆さん緊張した面持ちですが、慣れてくると笑顔で会話を交わす姿が見られます。およそ2週間～3ヶ月と目指す資格によって必要な実習期間は異なりますが、当院での経験が将来の糧となれば幸いです。



また、実習生としてではなく、中学生や高校生の職場体験や、大学生のインターンシップとしても活用いただいています。

地域の皆さまに末永く安心して診療を受けていただけるよう、教育の分野においても引き続き注力して取り組んでまいります。

【実習生受け入れ人数】

	看護部	リハビリテーション科	薬剤科	栄養科
令和2年度	24人	28人	4人	2人
令和3年度	22人	26人	4人	2人



8/ 「第63回 全日本病院学会in静岡」まもなく開催です

「第63回 全日本病院学会in静岡」が令和4年10月1日（土）・2日（日）の2日間、アクティシティ浜松にて開催されます。当院甲賀啓介院長が実行委員長を務め、さらに学会のPRとなる動画の制作も行いました。PR動画の配信は全日本病院学会としても初めての試みとなりました。動画は院長の飾らない気さくな人柄で学会の見どころやスタンプラリーの景品などについて紹介しており、ご覧いただく皆さまを笑顔にすることと思います。ご興味がありましたら是非、以下のQRコードを読み取り、YouTubeをご覧ください。

※なお、学会への入場は関係者のみの事前登録制となっており、一般の方の入場はご遠慮いただいております。

YouTube撮影風景



第63回全日本病院学会 in静岡
PR動画をやってみた①
(8月22日より公開)



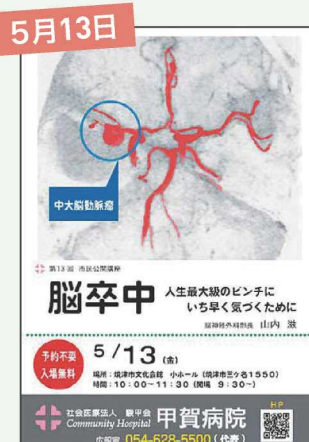
第63回全日本病院学会 in静岡
PR動画をやってみた②
(8月29日より公開)



市民公開講座・健康講座の開催

令和4年5月、7月に焼津文化会館で当院医師による公開講座を2回開催し、6月には藤枝市文化センターで健康講座を開催しました。どの講座も無料で開催しており、ご質問いただける時間も設けております。当院では地域の皆さんに、健康についてより詳しく最新の情報を知っていただくために、定期的に開催していきたいと考えています。開催についての情報はチラシの配布や当院ホームページ、LINEアプリによる配信によってお知らせしております。是非お気軽にご参加下さい。

日 時	演 者	演 題	会 場
5月13日(金) 10:00～	山内 滋 医師 (脳神経外科)	「脳卒中・人生最大級のピンチに いち早く気づくために」	焼津文化会館 (小ホール)
6月27日(月) 13:00～	澤野 浩 副院長 (整形外科)	「丈夫な骨で健康長寿ー骨粗鬆症の話ー」	藤枝市文化センター
7月12日(火) 14:00～	第1部 藤本 剛士 医師 (消化器外科)	「放っておいて大丈夫？ 知っておきたい胆石の話」	焼津文化会館 (小ホール)
	第2部 有村 隆明 医師 (呼吸器外科)	「症状が出にくい肺がんと治療の話」	



VRリハビリテーション医療機器

mediVR神楽(カグラ)を導入

リハビリテーション科では、令和4年8月に歩行に必要な運動機能と姿勢バランス、認知機能を総合的に評価するための医療機器「mediVR神楽(カグラ)」(以下、神楽)を静岡県内で初めて導入しました。

この神楽は、専用のゴーグルを装着してVR(仮想現実)に入り、両手のリモコンを使って目の前に現れる的や上から落ちてくる果物を受け取ったりする等、ゲームをしているような感覚でリハビリが行うことができます。

主に脳卒中による障害の機能回復を目的として使用していますが、実際に神楽を使用している患者さんで、手の震えが収まったり、歩行速度が戻ったりと機能回復効果を体感している方もおられます。

新しい分野での取り組みとして今後の期待値も大きく、当院ではリハビリの一助として積極的に活用していきたいと考えています。



ゲームをしているような感覚!



県内初導入のため、TV局の取材に応じる根元医師

脳ドック

MRI 基本項目 3点 30分 //

頭部 MRA 頭部 MRI 頸部 MRA

10,000円 (税込)

ご予約は (予防医療センター直通) お電話で 054-631-7209



常勤医師4名が脳神経外科・血管内治療専門医です

脳梗塞やくも膜下出血を発症すると、重度の後遺症に悩むことが多いです。脳ドックでは脳動脈瘤や頸動脈狭窄のような異常を発症前に見つけることができます。その上で適切な治療につなげれば、より長く元気な時間を過ごすことができます。当院では検査を行うだけでなく、専門医による相談・治療も可能です。

24時間 365日 あっ!と思ったらすぐに甲賀病院専用救急車を! 090-2135-9990

甲賀美智子理事長の作品「みちのくの春」が「第75回記念女流画家協会展」で入選しました



入選作品「みちのくの春」

当法人甲賀美智子理事長の作品「みちのくの春」(F100号)が、「第75回記念女流画家協会展」で入選しました。

女流画家協会とは、活躍中の女流画家が会派を越えて一堂に集合し、これからの日本の女流画家の発掘と育成の場を目的として1947年に設立した団体です。

今回の第75回記念女流画家協会展は、東京都美術館で6月7日(火)～13日(月)まで開催され、多くの女流画家さんの作品を見る事が出来る貴重な機会となりました。

2022年8月開設

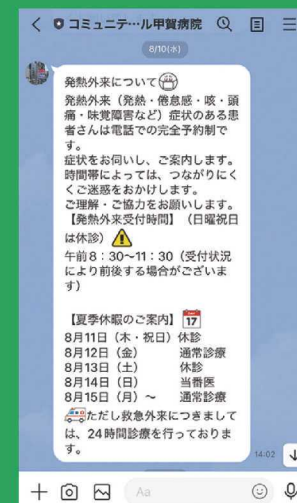
コミュニティーホスピタル甲賀病院の
アカウントを開設しました。
病院情報を定期的に配信しています。

LINE 公式アカウント

友だち 募集中

ID @433wicgu

LINEの「友だち追加」から、ID検索するか
QRコードをスキャンしてください



©LINE



『静岡空襲を後世に伝える』

静岡平和資料館をつくる会団体見学部長

田中明充さん



現在は焼津市にお住いの田中明充さん。当院へ通院されたご縁でお話を聞くことができました。

田中さんは2015年より静岡市葵区伝馬町の「静岡平和資料館をつくる会」のボランティアとして『静岡空襲を後世に伝える』活動をされています。

静岡がB29から投下された焼夷弾によって火の海と化した1945年6月19日の深夜、田中さんはわずか生後11か月の赤ん坊でしたので当時の記憶はありません。母親の春江さんが亡くなった後見つかった手記に、「子供にも小さな防空頭巾をかぶせてあったのですが、何の役にも立たなかった」とあるよ

うに、田中さんの額には空襲によってできた火傷の痕が今なお残り、春江さん自身も両腕に火傷を負い死ぬまで消えることはありませんでした。

手記は春江さんが78歳の時に、当時の記憶をもとに記されたものだそうです。春江さんの身の回りで起きた空襲の惨事や祖母の死を、湧き上がる感情の数々が力強い言葉で記してあり、それらを後世に伝えたいという思いと共に遺されていました。

田中さんは現在78歳。「この身体が元気でいられる間は、静岡空襲の惨事や、母親の手記と体験画を、戦争を知らない子どもたちへ伝えていきたい」と、

静岡市内の学校を訪問しています。単に言葉で話すよりも体験画や写真・資料を使った方が判り易いのではと考え、70歳を過ぎてからパワーポイントを習得したとのことでした。

手記のほか、B29から投下された焼夷弾、静岡平和資料館をつくる会へ寄贈されている戦時資料や体験画などを用い、低学年でも理解できる内容となるよう心掛けているとの事。一方で焼死体の絵など、学年によっては配慮が必要な場合もあるため、先生

方との事前の打合せは欠かせないそうです。

春江さんの手記の最後には、こんな願いが込められていました。

—「世界平和、核兵器廃絶、世の中の人達全部が平和で明るい社会で暮らせる様にしたいものです。21世紀を担う若い世代の皆様、こんなに苦しく、辛い事の無い様、皆様の力で頑張ってください。お願い申し上げます」—



静岡市内の小学校での講話



春江さんの体験画「渦を巻く赤い竜巻」



田中明充さんと母親の春江さん

外科・小児外科開設

NEW 外科

- ☐ 切り傷
- ☐ 皮膚のできもの
- ☐ 擦り傷
- ☐ 皮下腫瘍
- ☐ 咬傷
- ☐ やけどなどの外傷
- ☐ 巻き爪
- ☐ 一般外科疾患

NEW 小児外科

- ☐ 外傷
- ☐ 便秘
- ☐ 漏斗胸
- ☐ 包茎
- ☐ 停留精巣
- ☐ 鼠経ヘルニア
- ☐ 臍ヘルニア（でべそ）
- ☐ 肛門周囲膿瘍（乳児痔瘻）
- ☐ 小児外科疾患



FUJIEDA
mikinē 2F

担当医

うるしはらなおと
漆原直人医師

所属学会

- ・日本外科学会
（指導医・専門医）
- ・日本小児外科学会
（指導医・専門医）
- ・がん治療認定医
- ・小児がん認定外科医

経歴

- 1983年 岡山大学卒業
- 1997年 岡山大学消化器外科助手
- 2001年 静岡県立こども病院 小児外科医長
- 2020年 静岡県立こども病院 副院長
- 2022年 藤枝駅前クリニック 副院長

NEW 外科・小児外科 診療時間

診療時間	月	火	水	木	金	土	日/祝
9:00～12:00	○	○	○	○	○	—	—
14:00～17:00	○	○	○	○	○	—	—

※診療時間の30分前より受付を開始しています。

※その他の診療科の診療時間は当院ホームページをご覧ください

アクセス方法



自家用車でお越しの場合

- ・藤枝市営藤枝北口駐車場
- ・ホテルオーレ藤枝
第1・3・4駐車場

駐輪券・
駐車券を用意
しています



自転車でお越しの場合

- ・丸十ガレージ



電車でお越しの場合

- ・JR 藤枝駅北口徒歩1分



社会医療法人 駿甲会

藤枝駅前クリニック

〒426-0034 藤枝市駅前1丁目8-3(藤枝ミキネ2階)

TEL:054-645-5545 FAX:054-645-5546

URL <https://fujiedaekimae-clinic.jp/>

藤枝駅前クリニック

検索

